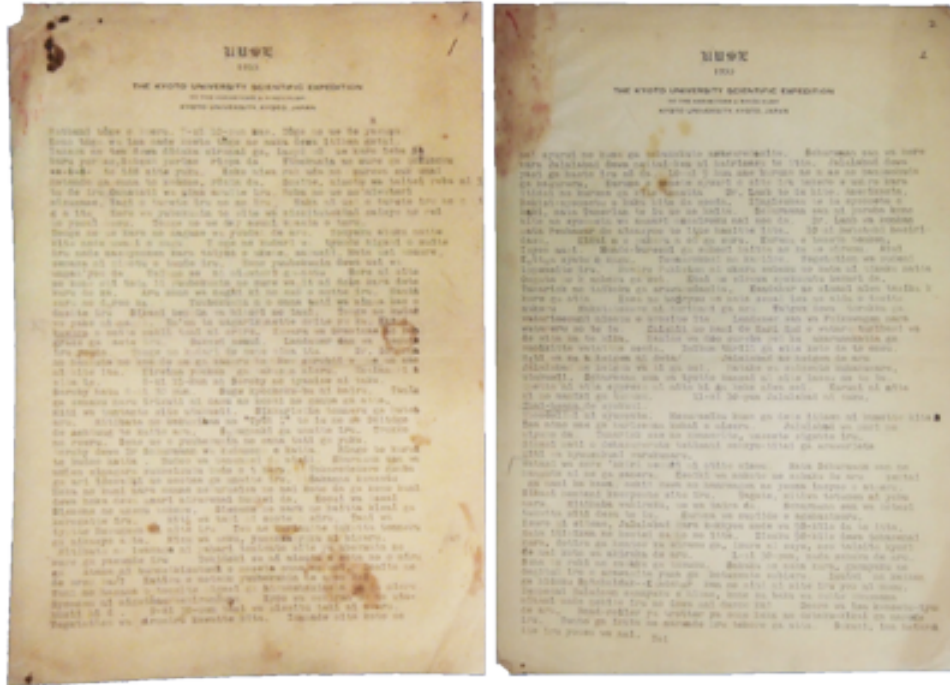


「カイバル峠からカルカッタまで」のローマ字原稿 F0126

あるく、ウメサオタダオ展



1955年 35歳のころ



『インドから熱砂の国へ』(1962年)の本のなかに「カイバル峠からカルカッタまで」という旅行記があります。これは、1955年に京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊に参加した帰り道の記録です。ひざの上にタイプライターをのせて、つぎつぎと変わる風景をゆれうごく車のなかで記録してゆきました。タイプライターをつかってローマ字で打った文と、本になった文を読みくらべてください。ほとんど同じです。現在なら、人びとはツイッターで刻々と変わるようすを発信することができます。